

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	移住体験宿泊促進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	総合戦略推進室			款	2	新規or継続	継続事業
	係	移住・定住係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	242	名称		目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	R3	実施方法	一部委託
	政策	4	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり		終了年度		事業分類	啓発事業
	施策	2	移住・定住の促進					
			根拠法令、条例等					
			佐野市移住体験宿泊事業実施要綱					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	移住検討者が移住体験住宅に宿泊し、本市の良好な生活環境を実際に体験することで、本市への移住促進を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市外に居住し、本市に移住を検討している人に、佐野市の暮らしを体験してもらい、本市へ移住してもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		おためし住宅稼働日数	日	150	225	240	250	
		この事業による移住者数	人	2	5	10	10	

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・移住体験住宅の運営及び修繕、維持管理費等の支払い ・移住体験住宅のPR、周知、稼働率増加策の検討	活動指標	単位	R3	R4	R5
		おためし住宅管理日数	日	365	365	365
		事業費計	千円	2,049	1,867	1,846
		一般財源	千円	1,849	1,587	576
		特定財源（国・県・他）	千円	200	280	1,270
		（うち受益者負担）	千円	200	280	270

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	移住体験住宅が広く認知されたことにより、稼働日数が増加した。 また、移住者の実績も増加しているため、本市の居住環境の良さを知ってもらう機会の提供に繋がっている。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		おためし住宅稼働日数	日	149	212	237	値が大きいほど良い	効果が上がった
		この事業による移住者数	人	0	1	4	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	2指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標			○		
	効果が下がった指標数	0指標					
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

利用状況や移住実績から、施設を増やすことの他、民間主体で運営するゲストハウス等と連携し、移住体験をする方に補助金を出すなど検討する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☒ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ①民間主体で運営するゲストハウス等との連携
--	-------------------------------

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年6月28日

事業名	「佐藤さんゆかりの地」聖地化プロジェクト事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	総合戦略推進室			2	新規or継続	継続事業
	係	移住・定住係			1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	242	名称	事業期間	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		開始年度	H31	実施方法
	政策	4	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり		終了年度	R6	事業分類
	施策	2	移住・定住の促進				啓発事業

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	全国200万人の佐藤姓のルーツは、平安時代中期に本市を拠点に活躍した藤原秀郷であり、佐藤の由来は、佐野の藤原である説が有力視されている。そこで、本市を佐藤さんゆかりの地として聖地化し、本市に積極的に関わる関係人口の創出と拡大を図る。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国の人々に佐藤さん組織に関わってもらい、佐野市の認知度の向上と地域の活性化に繋げる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐藤の会会員数（SNSフォロワー数含む）	人	5,000	7,000	9,000	9,500	

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・佐藤の会及び佐藤さんおもてなし隊の運営 ・SNSなどによる「佐藤さんゆかりの地」の積極的なプロモーション ・「佐藤の会」活動や「おもてなし隊」活動支援による会員拡大 ・クラウドファンディング実施	活動指標	単位	R3	R4	R5
		SNS投稿回数	回	2,165	2,475	2,035
		イベント等の実施回数	回	3	5	8
		事業費計	千円	21,331	22,008	22,637
		一般財源	千円	10,861	10,000	10,000
		特定財源（国・県・他）	千円	10,470	12,008	12,637
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	クラウドファンディングによる佐藤さんTシャツ等の製作、本事業で初となる市内での佐藤の日のリアルイベントの開催等により、会員とSNS等のフォロワー数が増加した。また、佐藤さんゆかりの地でのボランティア活動等に、会員から計5名の参加があった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐藤の会会員数（SNSフォロワー数含む）	人	4,093	6,387	7,608	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度から団体としての完全自立化を目指していたが、企業版ふるさと納税などの新規獲得ができていない。 市内企業とのオリジナル商品開発等により、事業に賛同する企業獲得や会員拡大を目指し、引き続きPRを行っていく必要がある。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ① 鈴木さんゆかりの地の海南市等との連携を図り、PR効果を更に高める。 ② 市内企業とのオリジナル商品の開発等により、事業に賛同する企業を獲得する。 ③ ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度を活用した寄附金の増額を目指す。
---	---

事業名	移住・定住関連情報 P R 事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	総合戦略推進室		移住・定住関連情報 P R 事		款	2	新規or継続	継続事業
	係	移住・定住係		業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	242	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	-	事業期間	開始年度	H28	実施方法	直営
	政策	4	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり			終了年度		事業分類	啓発事業
	施策	2	移住・定住の促進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	市外からの移住・定住を促進するため、本市の豊かな自然環境や充実した交通網など、本市で暮らすことの魅力を効果的に発信する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国の人々に佐野市の魅力を知ってもらうことで、移住定住のきっかけにもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		「佐野で暮らそう」閲覧件数	件	17,000	18,500	21,000	23,500	

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・リーフレットの作成、配布 ・ポータルサイト「佐野で暮らそう」の運用 ・フェイスブック「佐野で暮らそう事務局」公式アカウントの運用 ・移住フェアへの出展 ・オンライン移住セミナーへの出展 ・オンライン移住相談の実施	活動指標	単位	R3	R4	R5
		リーフレット等の作成	部	1,200	2,500	2,000
		移住関連相談件数	件	430	481	533
		移住セミナー等の実施回数	回	2	3	3
		事業費計	千円	92	196	131
		一般財源	千円	92	196	131
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	都内の就業者でテレワークとなった人などが、地方への移住を求めて移住相談が増加しており、その多くの方は本市の移住・定住のポータルサイトから情報を得ているため、微増となった。また、ふるさと回帰支援センターでの栃木県全体の相談件数は、2年連続の全国第3位となった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		「佐野で暮らそう」閲覧件数	件	11,402	10,619	11,323	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

移住イベントや市及び全国の移住相談数が増加していることから関心が高まっている。そのため、職員が管理しているホームページや S N S 等についての委託の検討が必要である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☒ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 ① S N S 等による効果的な情報発信や外部委託の検討 ② 移住者交流会や東京での移住セミナー等の実施
---	---